

◆ 1. 様々な関係者の意識向上と協力強化

■ 1-1. 学校運営委員会の能力向上・活動支援



学校運営委員会が開催した保護者への説明会の様子。定期的な委員の集まりや報告会に加え、必要に合わせて、随時、説明会等が行われている。



学校運営・改善能力向上ワークショップでは、学校の状況調査能力に焦点をあてた。成果物の一つとして、全147の調査項目からなる調査に使用するチェックリストを作成した。

■ 1-3. 親・地域住民の意識向上



学校改善活動報告会は3回目を迎え、1施設250名を超える保護者や地域住民が出席するようになってきた。

■ 1-4. 学校改善活動のネットワーク化



学校運営地域委員会のキックオフミーティング。グループに分かれ、委員会の規定等を検討している様子。

■ 1-5. 「学校運営委員会を通じた学校改善」対象校の拡大



ファシリテータ育成研修では、現行の学校運営委員会の委員も出席し、これまでの経験を参加者へ共有した。



ファシリテータ育成研修の様子。グループワークとして、仮想の学校改善計画の策定を行う参加者。

◆ 2. 学習環境の整備

■ 2-2. 清掃と維持管理



子どもに対する衛生教育セッションは、トレーニングを受けた教員が講師を務め、各学校の全ての生徒に対して繰り返しセッションを実施している。写真は、手洗いの実践を行う子どもたち。



子どもに対する衛生教育セッションでは、講義形式のものではなく、子どもたち自身が問題を洗い出し、その原因や解決策を検討するといった参加型の内容となっている。写真は、セッションの一部として、子どもたちが衛生状況改善の意識向上のために書いたポスター。



チェックリストを利用しながら、定期的に清掃状況のモニタリングを実施する教員。



清掃状況のモニタリングには、子どもたちも参加している。

◆ 3. 学校における「子どもの参加」の促進

■ 3-1. 子ども会を通した子どもの意識向上



子ども会の活動は学校側が主要な役割を果たすようになってきている。写真はセッション計画について話し合う教員。



第1期にて作成した啓発用ノートを利用し、ノートに描かれたメッセージや絵を説明する子ども。

■ 3-2. 教員の理解促進（左）、3-3. 学校運営委員の理解促進（右）



各学校で行われた教員に対する「子どもの参加」フォローアップワークショップの様子。



学校運営委員会に対する子どもの参加フォローアップワークショップ。講師は教員ネットワークのトレーナーが務めた。

■ 3-6. 教員ネットワークの立ち上げ・強化



教員ネットワークのキックオフミーティングの様子。組織の目的やルール等の作成に取り組むメンバーの様子。



「教員の行動指針」の策定にあたっては、教員ネットワークでの話し合いだけでなく、教育局との協議も行われている。